

【表紙】

| | |
|------------|--|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成24年8月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第6期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日) |
| 【会社名】 | UTホールディングス株式会社 |
| 【英訳名】 | UT Holdings Co.,Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 若山陽一 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都品川区東五反田一丁目11番15号 |
| 【電話番号】 | 03-5447-1711 |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員 Finance and Accounting Unit GM 塚原進午 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都品川区東五反田一丁目11番15号 |
| 【電話番号】 | 03-5447-1711 |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員 Finance and Accounting Unit GM 塚原進午 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第5期 第1四半期連結 累計期間 | 第6期 第1四半期連結 累計期間 | 第5期 |
|-------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日 | 自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日 | 自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日 |
| 売上高(千円) | 5,679,325 | 7,116,497 | 24,106,046 |
| 経常利益(千円) | 336,913 | 258,972 | 1,379,518 |
| 四半期(当期)純利益(千円) | 163,731 | 170,719 | 880,429 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 164,541 | 170,719 | 880,998 |
| 純資産額(千円) | 1,030,943 | 2,757,154 | 3,117,797 |
| 総資産額(千円) | 8,011,787 | 9,357,075 | 8,550,366 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 (円) | 800.19 | 803.22 | 4,259.78 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 12.5 | 29.5 | 36.5 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 第5期第1四半期連結累計期間及び第5期の売上高には、税込処理を採用している子会社を除き消費税等は含んでおりません。また、第6期第1四半期連結累計期間の売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクの発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定、又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年6月30日）におけるわが国経済は、復興関連需要等に支えられ緩やかな回復の兆しが見られたものの、欧州政府債務危機を巡る懸念や電力供給の制約、デフレの影響等により、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

このような状況の下、当社グループは2012年問題を契機としたメーカーの請負ニーズ増加と、半導体分野の請負実績を踏まえた他分野への積極的な営業活動の展開により、既存顧客のシェアアップと新規顧客の獲得に努めてまいりました。

アウトソーシング事業におきましては、2012年問題による派遣から請負への切替ニーズを取り込むため、当社主要顧客先である半導体から重点領域を拡げ、新規顧客への営業強化や採用体制の強化を図ってまいりました。その結果、取引先顧客工場数は平成24年3月末時点の237工場から平成24年6月末時点で361工場となり、取引先顧客工場数を引き続き増やすことができました。併せて、当社グループの派遣先工場や請負先工場勤務する当社技術職社員の稼働数は平成24年3月末時点の6,082人から平成24年6月末時点で7,003人に増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高7,116百万円（前年同期5,679百万円、25.3%の増収）、営業利益275百万円（前年同期345百万円、20.3%の減益）、経常利益258百万円（前年同期336百万円、23.1%の減益）、四半期純利益170百万円（前年同期163百万円、4.3%の増益）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

(4) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営成績の現状と見通し

当第1四半期連結累計期間において、経営成績に重要な影響を与える要因及び経営成績の現状と見通しについて重要な変更はありません。

(5) 経営者の問題認識と今後の方針について

当第1四半期連結累計期間において、経営者の問題認識と今後の方針について重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 800,000 |
| 計 | 800,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年6月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成24年8月14日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|--|-----------------------------|------------------------------------|--------------------|
| 普通株式 | 214,456 | 214,456 | 大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 当社は単元株制度は採用していません。 |
| 計 | 214,456 | 214,456 | | |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数(株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金 残高(千円) |
|--------------------------|-------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成24年4月1日～ 平成24年6月30日 | | 214,456 | | 500,000 | | 49,324 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|--------------|----------|----|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 1,911 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 212,545 | 212,545 | |
| 単元未満株式 | | | |
| 発行済株式総数 | 214,456 | | |
| 総株主の議決権 | | 212,545 | |

(注)「完全議決権株式(その他)」欄の株式数には、証券保管振替機構名義の株式が1株含まれております。

また「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有 株式数(株) | 他人名義所有 株式数(株) | 所有株式数の 合計(株) | 発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%) |
|---------------------|--------------------------|------------------|------------------|-----------------|--------------------------------|
| U Tホールディングス 株式会社 | 東京都品川区東五反田1 - 11 - 15 | 1,911 | - | 1,911 | 0.89 |
| 計 | - | 1,911 | - | 1,911 | 0.89 |

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,243,718 | 2,737,391 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,601,692 | 2,910,775 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,642 | 3,386 |
| 繰延税金資産 | 840,516 | 829,578 |
| その他 | 253,935 | 211,409 |
| 貸倒引当金 | 5,499 | 5,661 |
| 流動資産合計 | 5,938,005 | 6,686,880 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 29,527 | 37,621 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 55,825 | 89,123 |
| その他 | 54,435 | 37,311 |
| 無形固定資産合計 | 110,261 | 126,435 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 56,100 | 141,800 |
| 長期前払費用 | 1,466,804 | 1,463,544 |
| 繰延税金資産 | 813,636 | 757,117 |
| その他 | 136,030 | 143,676 |
| 投資その他の資産合計 | 2,472,571 | 2,506,138 |
| 固定資産合計 | 2,612,360 | 2,670,195 |
| 資産合計 | 8,550,366 | 9,357,075 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 短期借入金 | 132,250 | 711,068 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 529,368 | 616,032 |
| 未払費用 | 1,560,138 | 1,896,067 |
| 未払法人税等 | 12,444 | 27,910 |
| 未払消費税等 | 264,696 | 312,739 |
| 賞与引当金 | 256,392 | 131,499 |
| 引当金 | 56,000 | - |
| その他 | 721,577 | 942,907 |
| 流動負債合計 | 3,532,866 | 4,638,224 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 70,000 | 70,000 |
| 長期借入金 | 1,788,504 | 1,852,832 |
| 引当金 | 10,192 | 10,064 |
| その他 | 31,005 | 28,800 |
| 固定負債合計 | 1,899,701 | 1,961,696 |
| 負債合計 | 5,432,568 | 6,599,920 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 500,000 | 500,000 |
| 資本剰余金 | 743,667 | 743,667 |
| 利益剰余金 | 2,324,087 | 1,963,445 |
| 自己株式 | 447,734 | 447,734 |
| 株主資本合計 | 3,120,020 | 2,759,377 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,223 | 2,223 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,223 | 2,223 |
| 純資産合計 | 3,117,797 | 2,757,154 |
| 負債純資産合計 | 8,550,366 | 9,357,075 |

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 1 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日) | 当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 5,679,325 | 7,116,497 |
| 売上原価 | 4,647,987 | 6,007,631 |
| 売上総利益 | 1,031,338 | 1,108,865 |
| 販売費及び一般管理費 | 685,543 | 833,196 |
| 営業利益 | 345,794 | 275,669 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5,178 | 0 |
| 受取配当金 | 2 | 0 |
| 雇用調整助成金 | 6,745 | 2,662 |
| その他 | 6,162 | 174 |
| 営業外収益合計 | 18,088 | 2,837 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 22,701 | 10,987 |
| 支払手数料 | 1,074 | 4,240 |
| その他 | 3,193 | 4,305 |
| 営業外費用合計 | 26,969 | 19,533 |
| 経常利益 | 336,913 | 258,972 |
| 特別損失 | | |
| 災害による損失 | 30,903 | - |
| 訴訟関連損失 | - | 7,631 |
| その他 | 9,714 | - |
| 特別損失合計 | 40,618 | 7,631 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 296,295 | 251,340 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 46,296 | 13,164 |
| 法人税等調整額 | 85,449 | 67,456 |
| 法人税等合計 | 131,746 | 80,621 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 164,549 | 170,719 |
| 少数株主利益 | 817 | - |
| 四半期純利益 | 163,731 | 170,719 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 164,549 | 170,719 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | 7 | - |
| その他の包括利益合計 | 7 | - |
| 四半期包括利益 | 164,541 | 170,719 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 163,724 | 170,719 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 816 | - |

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、UTエージェンツ株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めておりません。

【会計方針の変更】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 当社グループにおいては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|---------------------------|-------------------------|------------------------------|
| 当座貸越極度額及び貸出 コミットメントの総額 | 2,000,000千円 | 2,300,000千円 |
| 借入実行残高 | 20,000 | 41,600 |
| 差引額 | 1,980,000 | 2,258,400 |

2 財務制限条項

連結子会社であるUTエム株式会社は、株式会社みずほ銀行をアレンジャーとする計7社の協調融資によるシンジケートローン契約(長期返済期限5年のタームローン及びコミットメントラインの2つの契約形態から成り立っており、総融資額3,500,000千円のうちタームローンは2,200,000千円、コミットメントラインは1,300,000千円)を締結しております。この契約には、連結子会社であるUTエム株式会社単体における貸借対照表上の純資産の部や損益計算書における経常利益等により算出される一定の指標等を基準とする財務制限条項が付加されております。

なお、当第1四半期連結会計期間末、財務制限条項の対象となる借入金残高は1,870,000千円(シンジケートローン契約のうちタームローンによる長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む))となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 17,463千円 | 12,131千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成23年6月3日 取締役会 | 普通株式 | 514,694 | 2,400 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月27日 | 利益剰余金 |

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成23年5月25日付で、平成23年3月31日開催の取締役会における株式給付信託(ESOP)の導入の決議に基づき、将来、従業員へ給付する株式を信託するために自己株式の取得を行いました。

- ・取得株式数 19,500株
- ・取得総額 1,234,350千円
- ・取得日 平成23年5月25日
- ・取得の方法 大阪証券取引所J-NET市場における自己株式取引による買付け

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成24年5月30日 取締役会 | 普通株式 | 531,362 | 2,500 | 平成24年3月31日 | 平成24年6月25日 | 利益剰余金 |

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、アウトソーシング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

1. 取引の概要

(1) 対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称：当社の連結子会社であるUTアイコム株式会社の人材派遣・人材紹介事業

事業の内容：主として流通・小売・コールセンター向け人材派遣・人材紹介事業を行っております。

(2) 企業結合日

平成24年6月1日

(3) 企業結合の法的形式

UTアイコム株式会社(当社の連結子会社)を分割会社とし、UTエージェント株式会社(当社の連結子会社)を新設会社とする新設分割

(4) 結合後企業の名称

UTエージェント株式会社(当社の連結子会社)

(5) その他取引の概要に関する事項

2つの事業がそれぞれの一定の規模にあり、かつ、同じ派遣事業とはいえ事業特性が大きく違うことから、それぞれ独立した事業会社として専門特化していくことを目的としております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 800円19銭 | 803円22銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 163,731 | 170,719 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 163,731 | 170,719 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 204,616 | 212,545 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

自己株式の取得

当社は、平成24年8月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

資本効率の向上及び株式需給の改善を通じて株主の皆様への利益還元を図るとともに、効率的な資本政策の遂行を可能とするため。

2. 取得の内容

- (1) 取得する株式の種類 当社普通株式
- (2) 取得する株式の総数 20,000株を上限とする。
(発行済株式総数(自己株式を除く)に占める割合9.41%)
- (3) 株式の取得価額の総額 800百万円を上限とする。
- (4) 自己株式取得の日程 平成24年8月20日～平成25年7月31日
- (5) 取得方法 大阪証券取引所のJ-NET市場における自己株式取得取引による買付け及び
大阪証券取引所JASDAQ市場における信託方式による市場買付け

2【その他】

平成24年5月30日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

(イ) 配当金の総額・・・・・・・・・・・・・・・・・・531,362千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・・・・・・・・・2,500円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・・・・・平成24年6月25日

(注) 平成24年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月14日

U Tホールディングス株式会社
取締役会 御中

仰星監査法人

代表社員 公認会計士 中川 隆之 印
業務執行社員

業務執行社員 公認会計士 原 伸夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているU Tホールディングス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、U Tホールディングス株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象に記載のとおり、会社は平成24年8月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議した。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。